

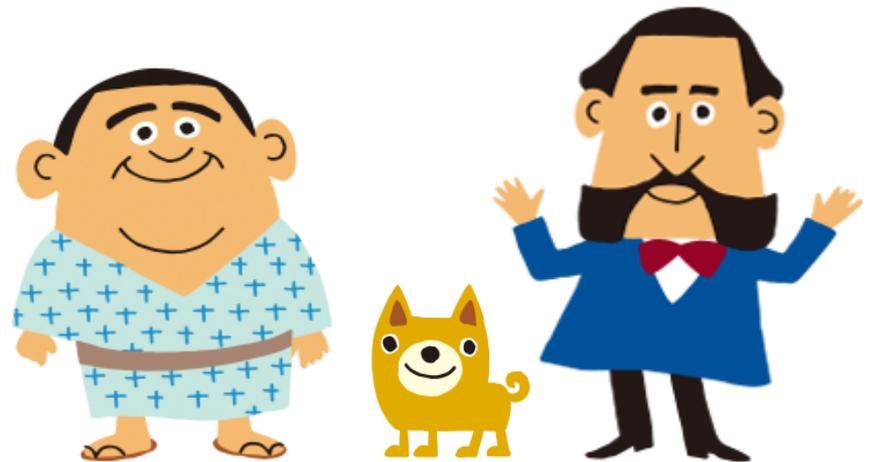


# 平成29年度 鹿児島県 がん相談支援部門活動報告

平成30年2月10日(土)

●今村総合病院: 淵上隆実

○鹿児島県がん相談支援部門



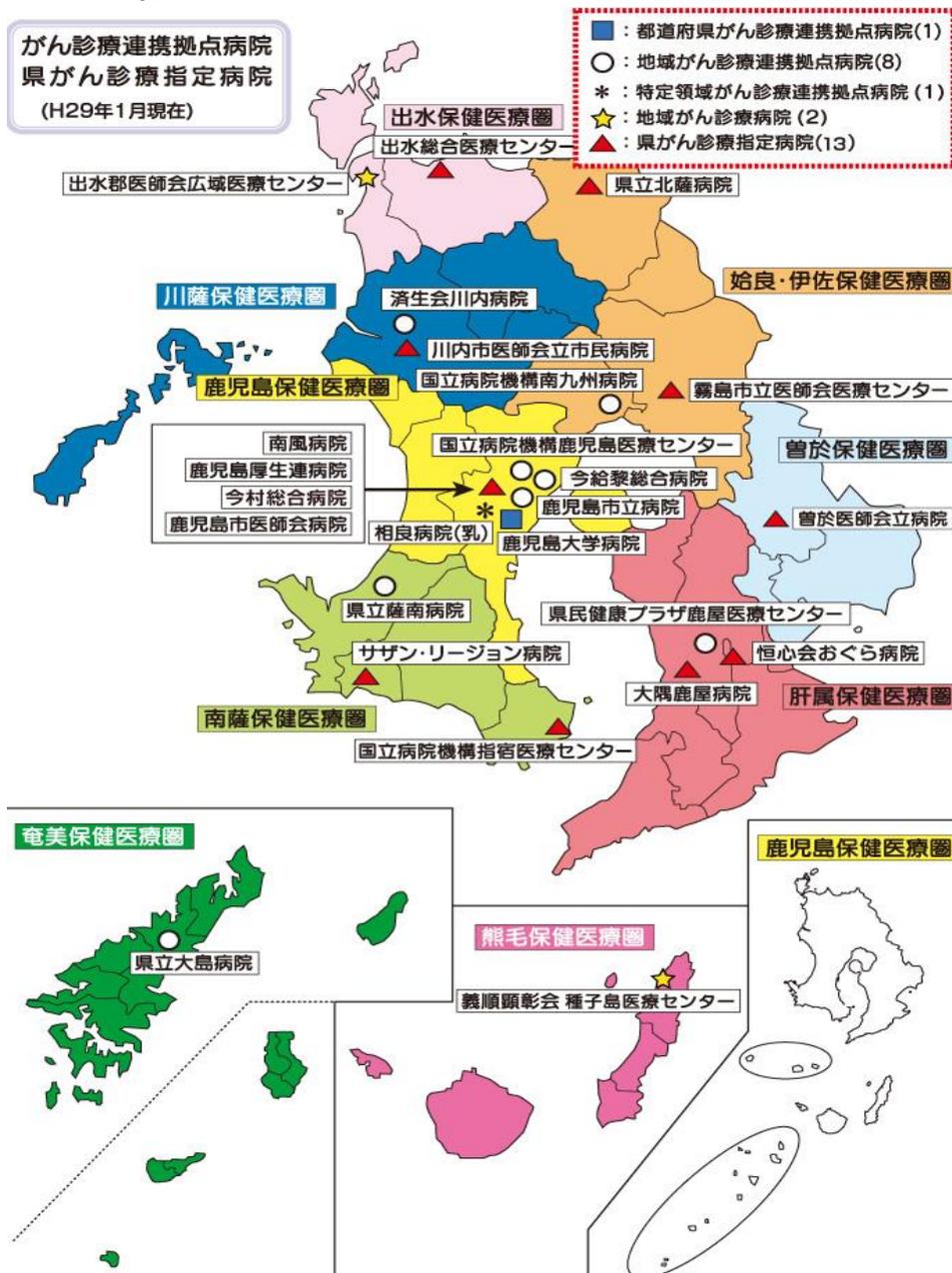


# 仲間が増えもした(25施設)

## 医療機関名

- 鹿児島大学病院
- 国立病院機構 鹿児島医療センター
- 鹿児島市立病院
- 公益財団法人昭和会 今給黎総合病院
- 鹿児島県立薩南病院
- 鹿児島県立大島病院
- 済生会川内病院
- 国立病院機構 南九州病院
- 県民健康プラザ鹿屋医療センター
- \* 社会医療法人博愛会 相良病院
- ★ 公益社団法人 出水郡医師会広域医療センター
- ★ 義順顕彰会 種子島医療センター
- △ 鹿児島共済会 南風病院
- △ 鹿児島厚生連病院
- △ 公益財団法人慈愛会 今村総合病院
- △ 鹿児島市医師会病院
- △ 社会医療法人聖医会 サザン・リージョン病院
- △ 国立病院機構 指宿医療センター
- △ 公益社団法人 川内市医師会立市民病院
- △ 出水総合医療センター
- △ 霧島市立医師会医療センター
- △ 県立北薩病院
- △ 曾於医師会立病院
- △ 鹿児島愛心会 大隅鹿屋病院
- △ 社会医療法人恒心会 恒心会おぐら病院

がん診療連携拠点病院  
 県がん診療指定病院  
 (H29年1月現在)





# がん相談支援部門の取り組み

	全体研修会（第一部）	事例検討（二部）	協議・報告等
平成29年度	<p><b>第12回</b></p> <p>平成29年8月26日</p> <p>【平成29年度第1回・部門会単独研修会】</p> <p>●「腫瘍溶解性アデノウイルスを用いた医師主導治験」</p> <p>講師：鹿児島大学大学院医歯学総合研究科整形外科学 准教授 永野 聡氏</p> <p>●「遺伝子パネル検査の臨床実装による、がんプレジジョンメディシンの実践」</p> <p>慶應義塾大学病院 腫瘍センター 客員教授 西原 広史氏</p>	<p>●グループワーク：</p> <p>相談員研修：今年度の活動計画、体制についての検討会（PDCAサイクルシート作成）</p>	<p>【協議】</p> <p>①第9回 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会報告</p> <p>②第3期がん対策基本計画案の概要とがん相談支援センターの機能、役割について</p> <p>・がん相談支援センターの相談対応体制と情報提供環境に関するアンケートの中間報告並びにそれに基づく今後の情報提供・相談支援部会の活動について</p> <p>③アスベスト対策に関する情報提供</p> <p>④県庁健康増進課担当者報告</p> <p>⑤第6回九州沖縄inフォーラム大分開催について</p>
	<p><b>第13回</b></p> <p>平成29年11月16日</p>	<p>●陽子線治療の効果と期待</p> <p>講師：メディポリス医学研究財団 荻野尚氏</p> <p>【事例検討会】</p> <p>・自己決定の支援～緩和ケア病棟での関わりを振り返る～</p>	<p>【報告】</p> <p>・相談員サロン</p> <p>「がん専門相談員の取得の流れについて」</p>
	<p><b>第14回</b></p> <p>（予定）</p> <p>平成30年2月24日</p>	<p>【平成29年度第2回・部門会単独研修会】</p> <p>●震災と緩和ケア</p> <p>講師：岩手県立大船渡病院 緩和ケア医療科 村上雅彦氏</p> <p>●事例検討（MSW事例）</p>	<p>【協議事項】</p> <p>・平成29年度活動計画の見直し</p> <p>・がんサポートブックの運用について</p> <p>（報告事項）</p> <p>・健康増進課より</p> <p>・NPO法人がんサポートかごしまより</p>

# H29年度の問題・課題(PDCA)



## ● アンケート班

- ・施設基準の均てん化
- ・相談件数の増加
- ・周知度評価

## ● 教育班

- ・研修企画
- ・認定相談員の増加
- ・研修参加満足度の向上

活動の評価

がん相談員  
質向上・維持

がん情報誌  
の充実

活動の促進  
広報・周知

## ● 情報誌作成班

- ・鹿児島県がんサポ  
ートブックの作成

## ● 広報・周知班

- ・周知の拡大

# 平成29年度 がん相談部門アクションプラン

目標：①県民に対しがん相談支援センターの役割・機能について周知を図る。②がん相談員のスキルアップと質維持を図る

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
年間行事			○がん相談/ 情報提供連携 協議会			○8/26 4部門合同研 修 ○相談支援部 門会						○4部門合同 研修 ○相談支援部 門会	○活動評価 (まとめ)	
患者会イベント			○5/13患者会 イベント							認定がん専門相談員認定資格取得				
国立がん研究センター主催研修		基礎研修(1)～(2)			基礎研修(3)		指導者研修		フォローアップ研修					
活動グループ	目標	(H29 4月)	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	(H30年)1月	2月	3月	
教育班	○相談員ネットワークの維持/強化を図る。 ○共通テーマと、その都度テーマでデータ集役			○研修内容・企画 ○事例提供内容検討 ○研修認定制度の申請手続き ○県境越えたPR		◎部門会研修①		○研修内容・企画 ○研修認定制度の申請手続き ○県境越えたPR	◎部門会研修②		○研修内容・企画 ○事例提供内容検討 ○研修認定制度の申請手続き	◎部門会研修③		
			相談員サロン①			相談員サロン②			相談員サロン③			相談員サロン④		
アンケート班	・各職種の研修会でアンケートを配布し評価を行う。  ※予算がないため、各施設の協力を依頼する	○アンケート用紙の作成(昨年ベース) ○市民に向けたアンケート調査を実施予定 ○2月の部門会で最終報告する ○今後の問題・課題を明らかにする 【スケジュールに関しては、日程の詳細が判明してから、再度 検討予定へ】												
情報誌作成班	・情報誌の冊子化。 ・県内全ての拠点病院・指定病院のホームページに情報誌の掲載。 ・行政や関係団体へ情報誌の広報活動。		○冊子化に向けて、既存のがん情報誌の加筆・校正	○がん情報誌の冊子化(初版)	・行政、関係団体(医師会・看護協会・MSW協会・各職能団体、患者会など)に広報活動。 ・広報誌などへの掲載依頼。									
広報・周知班	地域住民や学生等に周知を図るためイベント等への参加		○5/13チャリティーイベント参加：実行委員	○6/26「フォーラム がんと生きる～ここから私らしく」に参加			○がん征圧月間に係るラジオでの普及啓発 ○がん患者相談・支援事業(年3回予定)(9月、11月、1月)	○学園祭に参加予定	○おはら祭り参加予定○がん患者相談・支援事業(年3回予定)(9月、11月、1月)		○天文館でティッシュ等の配布予定○がん患者相談・支援事業(年3回予定)(9月、11月、1月)			

最終評価

# 教育班

戦略目標 (CSF)	①研修参加者満足度向上 ②相談員サロン実施 ③スキルアップ研修会を開催し相談員のスキルアップと質維持に努める ④がん専門相談員の資格取得を3名以上目指す ⑤指導者研修会への参加 ⑥「認定がん専門相談員」認定事業Ⅲ群該当研修会の申請及び研修の質維持
業績評価指標 (KPI)	①研修終了後アンケート②相談員サロン実施件数③学習会・事例検討会開催件数 ④資格取得者数⑤指導者研修会への参加⑥認定事業Ⅲ群該当研修会の開催を年3回
平成28年度実績	①101%②75%③66%④1名⑤開催無し⑥66%
実施計画	①アンケート作成、評価、分析②部門会後の開催とイベントごとに開催③事例検討会と、スピリチュアルペインを抱える患者の理解について学ぶ④資格取得者から学ぶ ⑤参加者の募集、促し⑥該当のための申請、認定証の交付



結果・評価	・年度計画立案が遅れたことで、認定該当への申請も遅れた。 ・事例検討会の時間は、十分に確保できた。 ・アンケートの結果、現在までのところ「大変良かった」「良かった」が96%。 ・指導者研修へ参加チームができなかった。
今後の課題	新しい取り組みが出来ていない。 事例検討への準備不足。

# アンケート班

平成30年1月現在

戦略目標 (CSF)	<ul style="list-style-type: none"><li>● がん相談支援センター周知度の向上</li><li>● 新規相談件数の増加</li><li>● 活動内容の向上(取組アンケート調査)</li></ul>
業績評価指標 (KPI)	<ul style="list-style-type: none"><li>● 周知度の向上→60%以上</li><li>● 新規相談件数の増加→前年度比率 5%増</li><li>● 活動内容の向上→項目に応じて、8~9割以上達成</li></ul>
平成28年度実績	<ul style="list-style-type: none"><li>● 周知度→52.4%</li><li>● 相談件数→28年度が基準値となる</li><li>● 活動内容→項目に応じて、約4割の医療機関で達成</li></ul>
平成29年度 実施計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・4~12月の実績で評価(前年度対比も同期間)</li><li>・1月にアンケート集計・評価</li><li>・2月の部門会で報告</li></ul>



結果・評価	<ul style="list-style-type: none"><li>・現在、集計作業中(1.26が締め切り)</li></ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・予算化されていないため、周知度のアンケートに限界あり</li><li>・昨年同様、常日頃から継続的に周知活動が必要</li></ul>

# 情報誌作成班

平成30年1月現在

戦略目標(CSF)	●がん情報誌(かごしま県がんサポートブック)の作成
業績評価指標(KPI)	がん情報誌初版完成
平成28年度実績	情報誌データを完成させ、鹿児島県庁HPにアップした。
平成29年度 実施計画	1) 情報誌に掲載する情報を収集 ・県内がん相談支援センター、緩和ケア病棟などの医療機関の情報、 就労相談や社会資源の情報、患者会・患者サロンの情報) 2) 編集・レイアウト 3) 修正 4) 完成



結果・評価	・平成28年度内にがん情報誌データが完成し、県庁HP・国がんHPに掲載できた。 ・冊子化に関しては、平成30年2月下旬には初版が発行予定。
今後の課題	・がん情報誌を患者・ご家族、医療機関や関係機関へ、どのように広報・周知を図るかが課題。 ・冊子増刷の資金確保については、企業とのタイアップも検討。

戦略目標(CSF)	●がん相談支援センターのPR活動の充実を図る
業績評価指標(KPI)	県内で開催されるイベントへの参加件数(7件以上)
平成28年度実績	イベントへ参加件数6件以上→5件(83%)
平成29年度 実施計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>①5/13:チャリーティーイベント参加</li> <li>②6/25:「フォーラム がんと生きる～こことから私らしく」宝山ホールに参加</li> <li>③9月:がん征圧月間に係るラジオでの普及啓発に相談員が参加</li> <li>④10月:学園祭に参加</li> <li>⑤11月:おはら祭り参加</li> <li>⑥11月南薩ケアマネージャー協議会参加</li> <li>⑦1月:天文館でのPR活動の実施(ティッシュ配り)</li> </ul>



結果・評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度7件のイベント参加を計画し、実施できた活動は3件、飛び込み参加1件であった。</li> <li>・若い世代が関心を持ってもらえるよう、学園祭でのPR活動を計画したが申請許可が下りず断念した。</li> <li>・PR活動の規模が大きくなるほど参加に対するハードルが上がり、参加の準備等に時間を要した。</li> <li>・11月には南薩地区のケアマネージャー協議会でPR出来る時間を頂き参加する事が出来た。</li> <li>・地域の医療、介護を提供している職種の方々も、がん相談支援センターを有効に活用していないため、がん相談支援センターの場所、役割を伝えていくことは重要である。</li> <li>・イベントに参加することで、がん相談支援センターの周知度が確認出来、また周知に繋げるための工夫やアイデアが必要であると考える。</li> </ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・錦江湾を挟んだ地形により、地域(地方)に行くほど周知度に格差があるため、今後も地道なPR活動の実施に向けての取り組むことが重要である。</li> <li>・イベントに参加する担当者の勤務体制や移動費用等の捻出についても今後検討し、がん相談支援の業務の一環として活動推進が図れる体制づくりが課題である。</li> <li>・イベント参加を通じ、がん相談支援センターが心強い存在だとアピールしていく必要がある。</li> </ul>

平成30年度もPDCAサイクルを回しながら  
パワーアップを図ります！

ご静聴ありがとうございました。

鹿児島県がん相談支援部門

